

### **Channel Cross Over / Under**

### 【解説】

指定した期間の間の最高値と最安値を算定して上向きに突破または下向きに突破するときに「買い」信号または 「売り」信号を発生します。

テクニカル指標 High Low Channel (ハイ・ローチャネル)を参照して発生条件を確認することができます。

#### 【入力変数】

Length(期間): 最高値または最安値を算定するための期間

#### 【計算式】

Channel High = 指定した期間の最高値 Channel Low = 指定した期間の最安値

#### 【信号発生条件】

**買い信号** (表記:CCO)

以下の1,2の条件を同時に満たすとき

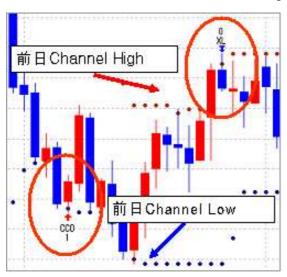
- 1) 現在価格が前日 Channel Low 値を上向きに突破するとき
- 2) 当日終値 > 前日終値

上向き突破: (前日終値 前日 Channel Low) And (当日終値 > 当日 Channel Low)

### 売り信号 (表記:XL)

現在値が前日 Channel High 値を下向きに突破するとき

下向き突破: (前日終値 前日 Channel High) And (当日終値 < 当日 Channel High)





# Heikin Ashi(平均足)

#### 【解説】

Heikin Ashi(平均足)チャートの陽線に反転するときに「買い」信号、陰線に反転するときに「売り」信号を発生します。

一般的なローソクチャートは当日一日の価格で表現するため小さな動きを捕捉することができる一方で、ローソクの色や模様が非常に不規則に変わる特徴を持っています。そのため、一般的なローソクチャートは大きなトレンドの流れを見逃しやすいとも言われています。

Heikin Ashi(平均足)チャートは小さな動きを排除して大きなトレンドの流れを把握するために平均の概念を取り入れて変形されたローソクチャートです。

#### 【計算式】

Heikin 終値 = (当日始値+当日高値+当日安値+当日終値) / 4

Heikin 始值 = (前日 Heikin 始值 + 前日 Heikin 終値 )/2

(開始 Heikin 始值 = 始值)

Heikin 高值 = Max(当日高值, Heikin 始值, Heikin 終値)

Heikin 安值 = Max (当日安值, Heikin 始值, Heikin 終値)

→ 上記変形された始値と終値をもとに新しいローソクチャートを描きます。 (下の Heikin Ashi 参照)

#### 【入力変数】

UpColor: Heikin 陽足色指定 DnColor: Heikin 陰足色指定

CompBars: 現在足を基準とした過去の足との「はらみ」チェックを行う足の本数 (特別条件参照)

「はらみ」チェックで足の色を決めます。CompBars の値が小さいほどトレンドに敏感になります。

#### 【足の色条件】

### 一般条件

陽足発生条件 = Heikin 終値 > Heikin 始値

陰足発生条件 = Heikin 終値 < Heikin 始値

#### 特別条件 (一般条件を満たした場合でも特別条件を満たせば特別条件を採用)

当日の Heikin ローソクが過去の Heikin ローソクの範囲内であるとき (「はらみ(当日の足が前日の足の値幅範囲内である状態)」であるとき。以下の 1),2),3),4)を 全て満たすとき) は過去の Heikin ローソクの色になります。すなわち、特別条件を満たす過去の足が陽足なら当日の足も陽足で、過去の足が陰足なら当日の足も陰足になります。

1) 当日 Heikin 始值 Max (前日 Heikin 始值, 前日 Heikin 終値)

2) 当日 Heikin 始值 Min (前日 Heikin 始值, 前日 Heikin 終値)



3) 当日 Heikin 終値 Max (前日 Heikin 始値, 前日 Heikin 終値)

4) 当日 Heikin 終値 Min (前日 Heikin 始値, 前日 Heikin 終値)

### 【信号発生条件】

## **買い信号** (表記:HAL)

Heikin Ashi ローソクが陰足状態で陽足転換のとき (陽足: Heikin 終値 > Heikin 始値)

### 売り信号 (表記:HAS)

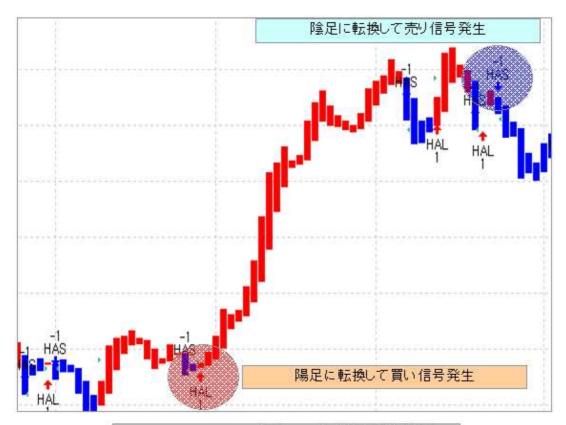
Heikin Ashi ローソクが陽足状態で陰足転換のとき (陰足: Heikin 終値 < Heikin 始値)

#### 参照

陽足転換:前日陰足 And 当日陽足 陰足転換:前日陽足 And 当日陰足



<一般Candle ChartとHeikin Ashi Chart比較>



〈Heikin Ashi Chartの買い又は売り信号発生状況〉



# **MA Trading (Granville)**

#### 【解説】

アメリカの証券分析家 Granville (グランビル) が考案した売買タイミング捕捉のための法則で、株価と移動平均線の関係で分析する実戦的な理論です。

一日一日の株価は移動平均線から遠くなるほど回帰しようと動き、近くなるほど遠くなろうと動くという法則をベースに考えます。デイトレーダーは売買期間が短いため、移動平均線は短期の 20 日線を主に利用します。

#### 【入力変数】

MA Length : 移動平均期間

Long1: True [買い条件 1,5 の実行], False[買い条件 1,5 の中止]

Long2: True [買い条件2の実行], False[買い条件2の中止]

Long3: True [買い条件3の実行], False[買い条件3の中止]

Long4: True [買い条件 4 の実行], False[買い条件 4 の中止]

Short1: True [売り条件 1,5 の実行], False[売り条件 1,5 の中止]

Short2: True [売り条件 2 の実行], False[売り条件 2 の中止]

Short3: True [売り条件3の実行], False[売り条件3の中止]

Short4: True [売り条件 4 の実行], False[売り条件 4 の中止]

#### 【信号発生条件】

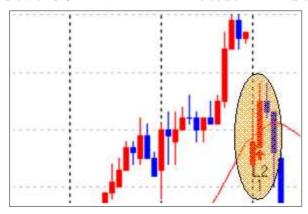
**買い信号** (表記:L1, L2, L3, L4, L5)

1. 移動平均線が下落または横這いである状況で、株価が移動平均線を上向き突破のとき (L1)





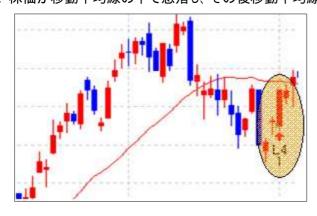
2. 移動平均線が上昇しているときに、株価が上から移動平均線の下に突破するとき (L2)



3. 移動平均線に向けて下落した株価が、移動平均線を下向きに突破をしないで上昇がるとき (L3)



4. 株価が移動平均線の下で急落し、その後移動平均線に近づく気配があるとき (L4)



5. 正配列( )状態になるとき (L5)



正配列 : 現在値 > 短期移動平均 > 長期移動平均

**売り信号** (表記:S1, S2, S3, S4, S5)

1. 上昇していた移動平均線が横這いもしくは下落する気配がある状況で、株価が移動平均線を下向きに突破するとき (S1)



2. 移動平均線が下落しているときに、株価が下から移動平均線の上へ突破するとき (S2)





3. 移動平均線に向けて上昇した株価が、平均線を上向きに突破しないで下落するとき (S3)



4. 株価が移動平均線の上で急騰し、その後移動平均線に近づく気配があるとき (S4)



5. 逆配列( )状態になるとき (S5)



逆配列 : 現在値 < 短期移動平均 < 長期移動平均



#### MACD & 0 Line Cross

#### 【解説】

MACD 指標値が 0 値を上向き突破するときに「買い」信号、0 値を下向き突破するときに「売り」信号を発生します。 テクニカル指標 MACD 参照

#### 【入力変数】

FastMA: MACD 指標を算定するための短期指数移動平均 SlowMA: MACD 指標を算定するための長期指数移動平均

#### 【計算式】

指数移動平均 = 平滑係数 x Price + (1 - 平滑係数) x 前日指数移動平均

( 開始(一番過去)の計算に採用する指数移動平均 = 終値)

平滑係数 = 2 / (81 + 1)

MACD = 短期指数移動平均 - 長期指数移動平均

#### 【信号発生条件】

買い信号 (表記:MACD)

MACD 指標値が 0値を上向き突破の時

## 売り信号 (表記:XL)

MACD 指標値が 0 値を下向き突破の時





### Parabolic SaR Cross Over / Down

### 【解説】

Parabolic 指標が上昇反転のときに「買い」信号、下落反転のときに「売り」信号を発生します。 テクニカル指標 Parabolic SaR 参照

#### 【入力変数】

AF: 加速因数

MaxAF: 加速因数の極大値

### 【信号発生条件】

買い信号 (表記:SaR CO)

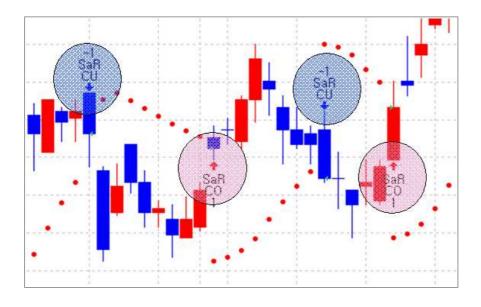
Parabolic 指標が上昇反転の時 (価格が Parabolic 指標を上向き突破の時)

上向き突破: (直前終値 直前 Parabolic) And (現在値 > Parabolic)

売り信号 (表記:SaR CU)

Parabolic 指標が下落反転の時 (価格が Parabolic 指標を下向き突破の時)

下向き突破: (直前終値 直前 Parabolic) And (現在値 < Parabolic)





### **Reverse To Trend**

### 【解説】

成り行きの反転が確認されるときに「買い」信号または「売り」信号を発生します。

### 【入力変数】

ありません。

#### 【計算及び信号発生条件】

### **買い信号** (表記:R2U)

(当日終値 > 前日安値) and (当日終値 > 前々日安値) and (当日安値 > Min(前日安値, 前々日安値)) And

(当日終値 > 当日始値) and (当日終値 前日高値)

## 売り信号 (表記:R2D)

(当日終値 < 前日高値) and (当日終値 < 前々日高値) and (当日高値 < Max(前日高値, 前々日高値)) And

(当日終値 < 当日安値) and (当日終値 前日安値)





### お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

「ダイワ365FX」の取引手数料は、無料です。ただし、売気配と買気配には、差額であるスプレッドがあります。

「ダイワ365FX」を行なうには、証拠金をお預けいただく必要があります。必要となる証拠金の額は、当社が定める計算式によって算出されます。また、必要な証拠金は、通貨ペア(通貨の組合せ)やその通貨の価格によって変化しますので、本取引の額の証拠金の額に対する比率は、常に一定ではありません。

「ダイワ365FX」は、取引対象である通貨の価格変動により取引価格が変動します。また、取引対象である通貨の金利変動により金利差相当額(スワップポイント)が受取りから支払いに転じることもあります。通貨の需給の偏りにより、スワップポイントが金利差を反映せず、買い付けた通貨の対象国の金利よりも高い場合にもスワップポイントを支払うことになる場合があります。したがって、元本や利益を保証するものではなく、損失が発生することがあります。また、お客さまにお預けいただいた証拠金の額を上回る取引を行なうことができるため、証拠金を上回る額の損失を生じる恐れがあります。

### その他ご留意事項

お取引に際しては、必ず「ダイワ365FX」の契約締結前交付書面、口座設定約諾書等、お客さま向け資料の内容をよくお読みください。

商 号 等: 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号加入協会:日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会 一般社団法人金融先物取引業協会 一般社団法人第二種金融商品取引業協会